

●参加者の感想

・G-SHOCKの開発ストーリーはまさに「Never Give Up」。開発者の強い思いと共感を得られるコンセプトがあればこそ、できあがった製品だと思いました。

伊部さんの本当に凄いところは、ある意味、失敗の連続であった開発経験を通じて学んだことをきちんと後輩に伝え、メタル素材の「MR-G」を若手を集めた自主プロジェクトで開発していったところだと思います。

本気で取り組める自主PJは10年に1回、それくらい疲れるし大変と言っておられたのが印象的でした。チャレンジすること、実践が大事ということを身をもって示されている姿勢に感銘を受けました。

・「やりたいことを10文字に絞り込む」、そして「それを実現するための課題を25文字に落とし込む」ことは、早速実践したいと思いました。

・個人的に思う伊部さんの講演の趣旨は、「シンプルなゴール」を大切にすることであったと感じました。

物事をはじめようとする、いろいろな状況や影響を考えて、様々な対応に追われたり、やっている事の方向性が見えなくなり、「何がゴール」なのかわからなくなる。自分がやりたいことをシンプルに、明確に描き、それを達成するためには瑣末なことは捨てたり、後回しにする。そこに開発を成功させる極意があるのではないかという思いに至りました。

●アンケート結果

①講演の感想

1) 製品開発ストーリーに関して

・G-SHOCKの誕生までの苦労、開発のコンセプト、テーマの作り方からPJの進め方まで、ご自身の経験と実例を交えながらお話しいただき、とても参考になりました。自主PJは10年に1回しか出来ないほど、大変というのが印象に残りました。

・新しい商品開発のコンセプトの出し方「10文字に落とし込む」を実践してみたと思いました。

・発想のターゲットを「普通の人、カッコよくない人」に置くというのにハッとさせられた。

・画一化の時代という背景、壊れやすいものは壊れやすくして仕方がない（仕方がないは昭和らしいが）のなかで、ノープランで開発をされたことに衝撃を受けました。

・今では常識的なことであっても、当時は本当に大変な苦労をされたことを聴くことができ、とてもよかったと思います

・オーナー企業の強みが、一行で刺さる企画書が通るところだと思いました。ただ、失敗が弱みではなく、強みになるようなシリコンバレーのような文化になるのが理想かと思いました

2) プロジェクト運営に関して

・部下とのかかわりに本気で覚悟をもって取り組まれている姿が印象に残った。語り口はやわらかであったが、成し遂げるための強い意志を感じた。

・自主提案型PJを成功に導くための苦労が良く理解できたが、同じような事例を今後、どのようにしたら作っていきけるかについて考えさせられた

・伊部先生の貴重なお話が聞いて良かったです。若手の視点から「上司の本音」は何か？を思いながら伺うことができ、

不満や今後の我々への期待を理解した

- ・自ら日頃の仕事がエンジニアとして最も大切な「社会に対する価値創造」に繋がっているか、自問する機会になり、大変勉強になりました
- ・「PJメンバーのモチベーション」という、私のような技術・開発担当者が最も苦手とする分野について、徹底的にご自分の失敗談を通した、わかりやすく、納得しやすいお話を頂き、大変参考になりました
- ・身近に感じられる製品がテーマで、発想や人との関係づくり、開発者の思いなどが語られていて、盛りだくさんでした。

②グループディスカッションの感想

1) モチベーションに関して

- ・部下のモチベーション向上（維持）に多くの先輩が悩まれているのが驚きだった。自分の中堅の年代だが、世代間のギャップがわかることで解決の糸口を乱せる可能性を感じられたのが収穫だった。
- ・皆、モチベーションをどう維持するか、上げるかに苦心していることに共感できた。
モチベーションをどう維持、向上するかを議論でき、面白い切り口でアイデアが出てくるのが意外でした
- ・技術者としてモチベーションをどうたかめるかといったテーマに対し、異なる職場の人達の考えを聞いてエキサイティングだった

2) 様々な視点に関して

- ・自主pjをどう進めたらよいかについて、色々な視点から議論が出来て面白かったです。
- ・4つのグループで全く異なる観点でテーマを選ばれているのが意外に感じ、新鮮でした。また、自分の考え、視野の狭さを感じました
- ・異なる立場の経験から色々な意見が参考になりました
- ・色々な意見を聞いて面白かった。物の見方に興味を持ちました
- ・意識の高い人、考えの異なる人が複数集まるとイノベーションが起きるかも？と改めて思いました

3) その他

- ・自由なディスカッションで1部の内容が深まり、よかったです
- ・議論を通じて考えが整理されました
- ・他の業界の方と交流できたことがとても新鮮でした
- ・社会人生活も長くなると「グループディスカッション」をする機会がなくなっていたんだな・・・と、認識させられました。フォーラムでは、是非、グループディスカッションの時間を設けて頂きたいと思います
- ・良い質問が聞いて良かった。特に次の開発が宇宙とは
- ・形に拘らず、発信できたのはGOODと思います
- ・テーマ自由というのも面白いと思いました
- ・1部で聞いた話を展開させるもので良い試みだと思います。これだけでも意味がありますが、次回以降のフォーラムにも繋がるストーリー性を持たせることができれば、1つのテーマを継続的に議論することになって深みも増しますので面白いです（本日中瀬さんから、このような展開をされる旨、伺ったと思いますが）。
- ・モチベーションの上げ方について議論しましたが、残念ながら少々時間不足でした。テーマを決める時間、議論する時間を分けた方が良かったです
- ・短時間でしたが、皆さんの考え方の違い、共通する点を共有できて良かった。もう少し議論する時間が欲しかった

・頭の回転の本当に速い人達が、いつもいてくれるので本質的な内容に落ち着くのが毎回驚きです。会社のグループ討議ではこうはいかないのが残念です。

③全体を通じて

- ・ほめるということの難しさは、子供に対しても若手に対しても同じですね。
- ・若手にどうやって夢をもってもらうか、仕事に取り組んでもらうか、に、今日の講演とディスカッションでの気づきを使った行動を何か始めたいと思う。
- ・若手にチャレンジさせるとともに、自分もチャレンジを続けていくこと、実践が大事だなと思いました
- ・自分から考えて行動する必要性を感じました

④ポスターセッションの感想

- ・寺子屋フォーラム以来の進捗を確認できたことはうれしく思います。フォーラムのプレゼンでは見直すことが出来ないので、ポスターにしてくれて見直すことが出来たことは深く理解するのに助かりました
- ・ご担当者の説明があることで、各テーマに対する熱量を感じる事が出来たのが良かった
- ・逆にプレゼン資料だけだと、そのテーマの「キモ」をとらえることが難しいと感じた。各テーマの説明に動画を使っても良いのではないか
- ・1枚1分程度でわかる資料を頭に持ってきた方が良いと思いました
- ・成果が文章ではなく、「もの」であるテーマが出来たので興味深いです
- ・交流の機会が広がってよかったです
- ・PJの進捗や成果が明示されるいい機会だと思います。今後も随時やれるといいですね。WEB上でもいいと思います
- ・参加のモチベーションがイマイチ起きなかつたので参加していませんが、皆さんが何の為に活動しているのかがわかり、素晴らしい事と思いました
- ・フォーマットをそろえても良いかも
- ・ユニークな活動が沢山あって興味深い
- ・初めての試みで良かったと思います。少しずつ改良して、テクノ未来塾を紹介するコンテンツとして使えるようにすればと思います。